

第2学年 図画工作科学習指導案

2年 組 名
授業場 体育館

- 1 題材名 新聞紙ジャングル「造形遊び A表現(1)ア、(2)ア、B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、(1)イ」

2 題材設定の理由

本題材では、子どもたちにとって身近な新聞紙を材料に、自分がイメージしたものをつくる造形遊びを行う。新聞紙は、用具を使わなくても、丸めたり、細くしたり、つないだりなど、簡単に形を変えることができる。その特性を生かして、子どもが手や体全体を使って、イメージしたものを自由につくることをねらいとしている。

本学級の児童は、明るく活発で、様々なことに意欲的に活動することができる。図画工作科の時間も、「今日は何をしますか。」と何度も教師に尋ね、楽しみにしている様子が見られる。児童は、これまでに粘土で自分の想像した生き物を作ったり、クレパスのぼかし技法を用いて好きな世界を描いたりして、自分の思いついたものを形や色、絵で表現する楽しさを味わった。また、「やさいをまもれ！きらきらさん」の学習では、生活科で育てている野菜を鳥から守るために、プラスチック製のコップやホログラムの折り紙、スズランテープなどを用いて、音が鳴る仕組みを作ったり、風に揺られて輝くようテープを細く切ったりなど、目的に合わせて工夫して製作する姿が見られた。一方で、言われたとおりにすることはできるが、自分でイメージを膨らまし、そのイメージに合うようじっくり考えることが難しい児童が多くみられた。テレビゲームやタブレットなどの普及から、幼少期に工作に親しんだ経験が少ない児童が少なからずいることも分かった。さらに、昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため体験活動が制限され、友達と協働的に学ぶ活動や、手や体全体、感覚を使った活動において、経験不足が感じられる。そのため、自分がイメージしたものに合うよう様々な方法を試したり、友達と協力して造形遊びをしたりする活動を通して、豊かな感性を育ててほしいと考え、本題材を設定した。

指導に当たっては、導入として、材料である新聞紙にたっぷりと触れさせる。様々な形になるという面白さを手や体全体を使って感じることで、イメージが深まるきっかけづくりを行う。その際に、つくった形をタブレットで撮影し、その形にオノマトペや比喩を使って言葉で表現させ、MetaMoJi Classroom（以下メタモジ）のワークシートに記録を残していくようにする。このワークシートは、その後の活動で、つくりたいもののイメージが膨らみにくい様子が見られた際に、見返したり模倣したりするなどして、児童自身が学んだことを主体的に活用することにも役立てられる。併せて、本題材では、なるべく新聞紙を大きく使うよう指導する。小さくちぎったり折りたたんだりするのではなく、新聞紙の形そのものを変化させ、どうすれば自分のつくりたいものを表現できるか考えることが期待でき、思考の深まりを促すことができる。また、活動の途中で、自分や友達の表現を見たり、少し離れて眺めたりする時間を取る。造形的な視点を増やし、友達の考えやアイデアに気付くことで、他者のよさを取り入れ、つくりかえたり、さらにイメージを膨らませたりして、造形的な見方や考え方がさらに広がることを期待している。

3 題材の目標

- (1) 手や体全体の感覚などを働かせて活動をするを通して、新聞紙の様々な形の変化に気づき、新聞紙の特性を生かして思いついたものを工夫してつくる。(知識及び技能)
- (2) 自分の感覚や気づきを基に、自分のイメージをもち、思いついたものをどのように表すかについて考えたり、自分や友達の作品を見て、よさや面白さについて感じ取ったりする。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) つくりだす喜びを味わい、楽しく新聞紙で造形遊びをする学習活動に取り組む。

(学びに向かう力、人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の感覚や行為を通して、丸める、やぶる、つなげるなどの新聞紙の様々な形の変化に気付いている。 新聞紙の扱いに十分に慣れるとともに、新聞紙の特性を生かして、自分がつくりたいものを工夫してつくっている。	自分の感覚や気付きを基に、自分のイメージをもち、思い付いたものをどのように表すかについて考えている。 自分や友達の表現を見て、よさや面白さについて感じ取っている。	つくりだす喜びを味わい、楽しく新聞紙で造形遊びをする学習活動に取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画 (全4時間 本時3/4)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点	評価方法等
1	・新聞紙がどのような形になるのか、様々な方法を用いて試す。	<input checked="" type="checkbox"/> 知 <input type="checkbox"/> ◎	・新聞紙の形に着目している様子を観察し、学習状態を把握し、記録する。 (観察・作品)
2	・新聞紙の様々な形をオノマトペや言葉を使って表し、自分のイメージを膨らませながら、活動の見通しをもつ。	<input checked="" type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> ○	・言葉で表す様子を観察する、問いかけるなどして、学習状態を把握し、指導に生かす。 (観察・対話・メタモジワークシート)
3	・新聞紙を使って、自分がイメージしたものやつくりたいものを工夫してつくる。 ・友達の表現を見たり、自分の表現を遠くから眺めたりし、つくり方や工夫、面白さについて感じ取り、造形的な見方や考え方を広げる。	<input checked="" type="checkbox"/> 技 <input type="checkbox"/> ◎ <input checked="" type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> ○	・自分がつくりたいものを思い付いている様子や、工夫して表している様子を観察し、記録に残す。 (観察、対話、作品) ・よさや面白さについて感じ取る様子を観察し、指導に生かす。 (観察、対話)
4	・前時の気付きを生かし、さらによりよく表現できるよう、つけ足したり、つくりかえたりする。 ・お互いの表現を紹介し合ったり、鑑賞し合ったりして楽しむ。	<input checked="" type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> ◎ <input checked="" type="checkbox"/> 態 <input type="checkbox"/> ◎	・表現の変化を通して、どのような気付きや思考の流れがあったのか把握し、記録に残す。 (観察・対話・メタモジワークシート) ・よさや面白さについて感じ取り、話し合う様子を観察し、記録に残す。 (観察・メタモジワークシート) ・活動全体を通して把握する。

6 本 時

(1) 目 標

新聞紙の様々な形の変化を基に、自分のつくりたいものをどのように表すかを考え、自分なりに工夫してつくることができる。

(2) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意事項	学習活動における評価規準【観点】	評価方法
5分	1 本時のめあてをつかみ、活動への意欲をもつ。	・前時の活動でできた形を、写真等を使って振り返り、本時の活動のめあてをもたせる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 体いくかんを 新聞紙ジャングルに へんしんさせよう。 </div>				
35分	2 新聞紙を使って、自分のつくりたいものを工夫してつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージに合わせて形を考えたり、形からイメージを膨らませたりできるよう、タブレット端末を一人一台持たせ、前時の活動を見返したり、お気に入りの部分の写真を撮ったりして、適宜活用できるようにする。 ・児童の願いやイメージに合わせて、空間を区切る、紐を張るなどして、活動に広がりが出るようにする。 	自分のつくりたいものをどのように表すか考え、工夫してつくっている。 【技能】	観察 作品 メタモジ ワークシート
5分	3 自分や友達の表現を見たり、味わったりして、気付いたよさや面白さを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を見る視点や位置を変えるよう促したり、実際に触ったり動かしたりして、様々な感覚や視点で、よさや面白さを感じられるようにする。 ・次時に生かせるよう、面白いと感じた部分を写真に撮らせたり、グループで伝え合ったりする。 		

(3) 指導及び評価の例

「十分満足できる」と判断される状況	見つけた新聞紙の様々な形の変化から、自分のイメージしたものに近づくような形を選んだり、付け加えたりして、試行錯誤しながらよりよい方法を自分で考え、つくっている。
「概ね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	新聞紙の形の変化の写真を見せる、教師が実演するなどして、形に着目させ、そこから何がイメージできるか問いかけを行う。